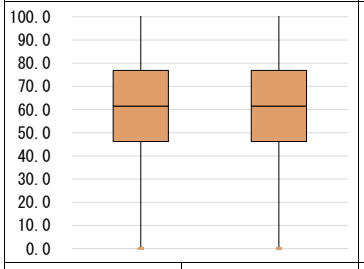
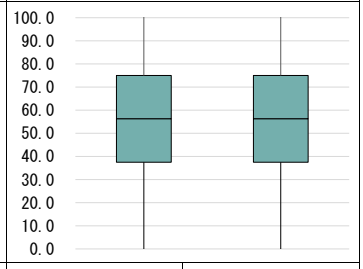
## 【１】教科調査・質問調査の結果

### ①小学校

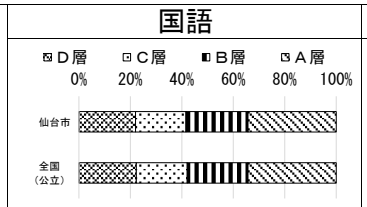
＜正答率の分布＞

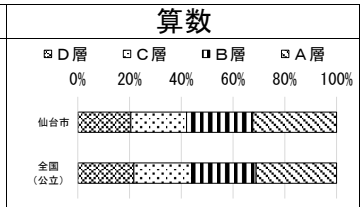



| | 国語 | | 算数 | |
|---|---|---|---|---|
| | 仙台市 | 全国（公立） | 仙台市 | 全国（公立） |
| 第３四分位 | 76.9 | 76.9 | 75.0 | 75.0 |
| 第２四分位 | 61.5 | 61.5 | 56.3 | 56.3 |
| 第１四分位 | 46.2 | 46.2 | 37.5 | 37.5 |
| 平均正答率 | 61 | 60.9 | 57 | 56.4 |
| 標準偏差 | 22.7 | 23.1 | 24.5 | 24.9 |

＜正答数の層分布＞



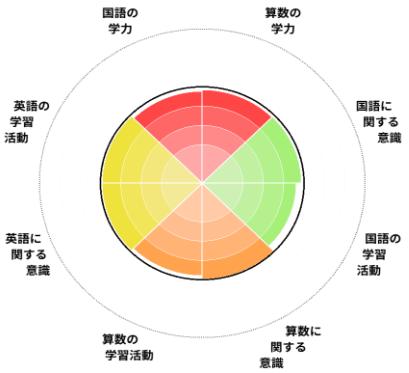




| 層 | D層 | C層 | B層 | A層 | D層 | C層 | B層 | A層 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 正答数 | 0～5問 | 6～7問 | 8～9問 | 10～13問 | 0～5問 | 6～8問 | 9～11問 | 12～16問 |
| 仙台市 | 22.0 | 19.6 | 24.1 | 34.3 | 20.5 | 21.5 | 25.6 | 32.3 |
| 全国（公立） | 22.3 | 19.8 | 23.6 | 34.3 | 21.7 | 22.3 | 24.9 | 31.1 |

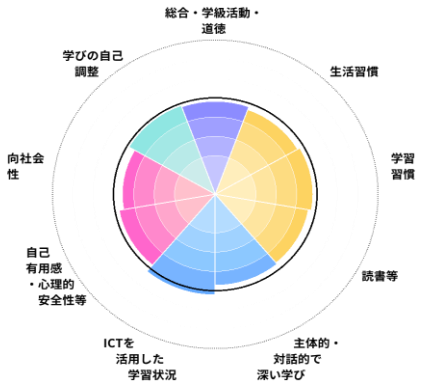
※Ａ～Ｄ層は、全国の児童生徒を正答数の大きい順に並べ、人数割合により約25%刻みで四つに分けている。境界付近の正答数に児童生徒が多数いる程、全国値の各層の割合は25%から変動する。

＜結果チャート＞　　**※全国平均（5.0）を黒の実線で示している。**

［教科を中心とした学力・学習状況］
（全国基準）




［その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）］
（全国基準）




＜令和８年度教科を中心とした学力・学習状況の領域名と児童質問番号の対応一覧表＞

| 領域番号 | 領域名 | 児童質問 対応領域・質問番号 | スコア 全国基準 |
|---|---|---|---|
| 1 | 国語の学力 | | 5.0 |
| 2 | 算数の学力 | | 5.1 |
| 3 | 国語に関する意識 | （５２）（５３）（５５） | 5.0 |
| 4 | 国語の学習活動 | （５４）（５６）～（５９） | 5.0 |
| 5 | 算数に関する意識 | （６０）（６１）（６３）（６４） | 5.0 |
| 6 | 算数の学習活動 | （６２）（６５）～（６７） | 5.0 |
| 7 | 英語に関する意識 | （６９）～（７１） | 4.8 |
| 8 | 英語の学習活動 | （７２）（７３） | 5.1 |

※領域番号３～８については、「小学校児童質問対応領域・質問番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。

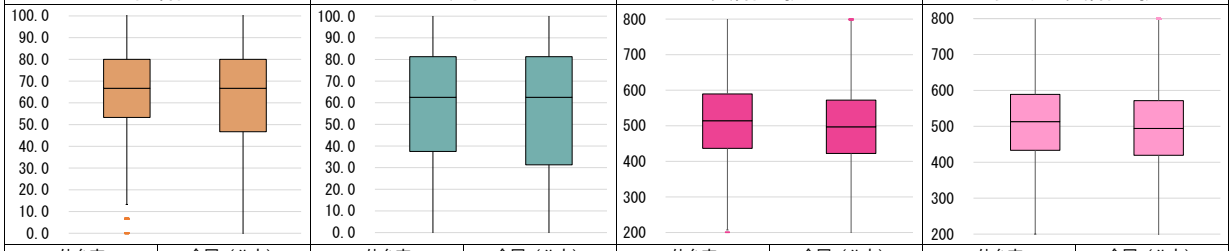
＜令和８年度その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）の領域名と児童質問番号の対応一覧表＞

| 領域番号 | 領域名 | 児童質問 対応領域・質問番号 | スコア 全国基準 |
|---|---|---|---|
| ９ | 総合・学級活動・道徳 | （４７）～（５１） | 5.3 |
| １０ | 生活習慣 | （１）～（４） | 5.3 |
| １１ | 学習習慣 | （２３）（２５） | 4.8 |
| １２ | 読書等 | （２６）～（３０） | 5.0 |
| １３ | 主体的・対話的で深い学び | （３８）～（４２）（４４）（４６） | 5.3 |
| １４ | ICTを活用した学習状況 | （３５）（３６－１）～（３６－４） | 5.3 |
| １５ | 自己有用感・心理的安全性等 | （６）～（９）（１３）（１５）（１７）（２０）（２１） | 5.0 |
| １６ | 向社会性 | （１１）（１２）（１４）（３３） | 4.9 |
| １７ | 学びの自己調整 | （２２）（４３） | 5.2 |

※領域番号９～１７については、「小学校児童質問対応領域・質問番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。

**②中学校**

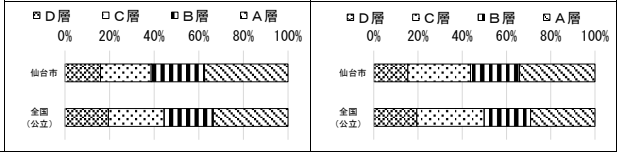
＜正答率の分布＞




| | 国語 | | 数学 | | 英語４技能 | | （参考）英語３技能 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 仙台市 | 全国（公立） | 仙台市 | 全国（公立） | 仙台市 | 全国（公立） | 仙台市 | 全国（公立） |
| 第３四分位 | 80.0 | 80.0 | 81.3 | 81.3 | 589.5 | 572.2 | 589.0 | 571.4 |
| 第２四分位 | 66.7 | 66.7 | 62.5 | 62.5 | 514.3 | 497.1 | 513.0 | 494.1 |
| 第１四分位 | 53.3 | 46.7 | 37.5 | 31.3 | 436.6 | 422.3 | 433.3 | 419.4 |
| 平均正答率／平均IRTスコア | 66 | 63.9 | 61 | 57.0 | 515～ | 499.1 | 515～ | 499.4 |
| 標準偏差 | 21.2 | 22.1 | 27.2 | 27.9 | 110.2 | 108.5 | 115.5 | 113.7 |

※中学校英語は、CBTで実施し、IRT（項目反応理論）に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

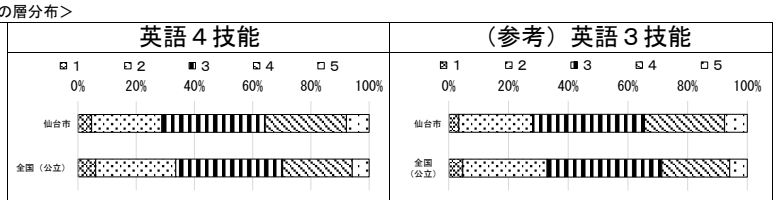
＜正答数の層分布＞




| | 国語 | | | | 数学 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 層 | D層 | C層 | B層 | A層 | D層 | C層 | B層 | A層 |
| 正答数 | 0～6問 | 7～9問 | 10～11問 | 12～15問 | 0～4問 | 5～9問 | 10～12問 | 13～16問 |
| 仙台市 | 15.9 | 22.7 | 23.9 | 37.4 | 15.4 | 28.3 | 22.1 | 34.1 |
| 全国（公立） | 19.5 | 24.9 | 22.1 | 33.5 | 19.5 | 30.4 | 21.0 | 29.1 |

※Ａ～Ｄ層は、全国の児童生徒を正答数の大きい順に並べ、人数割合により約25%刻みで四つに分けている。境界付近の正答数に児童生徒が多数いる程、全国値の各層の割合は25%から変動する。

＜IRTバンドの層分布＞

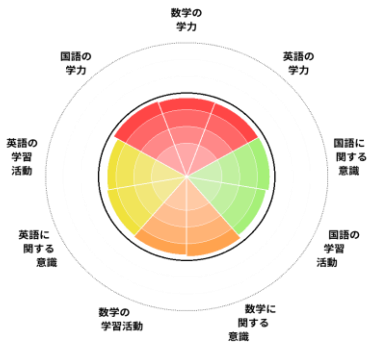



| | 英語４技能 | | | | | （参考）英語３技能 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| IRTバンド | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| IRTバンドスコア | ～341 | 342～448 | 449～556 | 557～663 | 664～ | ～329 | 330～443 | 444～558 | 559～673 | 674～ |
| 仙台市 | 4.7 | 24.1 | 35.5 | 27.9 | 7.8 | 3.4 | 24.7 | 37.5 | 26.8 | 7.6 |
| 全国（公立） | 6.1 | 27.5 | 36.7 | 23.9 | 5.8 | 4.7 | 28.2 | 38.4 | 22.7 | 5.9 |

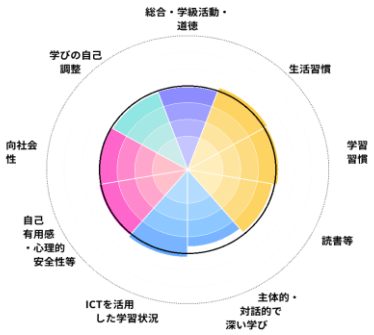
※IRTバンドの全国値について、理想的な正規分布となった場合、バンド３が約40%、バンド２及びバンド４が約23%、バンド１及びバンド５が約７%となるが、実際の各生徒のスコア状況により変動する。

＜結果チャート＞　　**※全国平均（5.0）を黒の実線で示している。**

［教科を中心とした学力・学習状況］
（全国基準）




［その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）］
（全国基準）




＜令和８年度教科を中心とした学力・学習状況の領域名と生徒質問番号の対応一覧表＞

| 領域番号 | 領域名 | 生徒質問対応領域・質問番号 | スコア 全国基準 |
|---|---|---|---|
| 1 | 国語の学力 | | 5.4 |
| 2 | 数学の学力 | | 5.4 |
| 3 | 英語の学力 | | 5.4 |
| 4 | 国語に関する意識 | （５２）（５３）（５５） | 4.9 |
| 5 | 国語の学習活動 | （５４）（５６）～（５９） | 5.1 |
| 6 | 数学に関する意識 | （６０）（６１）（６３）（６４） | 5.0 |
| 7 | 数学の学習活動 | （６２）（６５）～（６７） | 5.1 |
| 8 | 英語に関する意識 | （６９）（７０）（７２）（７３） | 4.9 |
| 9 | 英語の学習活動 | （７１）（７４）～（７６）（７８）～（８０） | 5.3 |

※領域番号４～９については、「中学校生徒質問対応領域・質問番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。

＜令和８年度その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）の領域名と生徒質問番号の対応一覧表＞

| 領域番号 | 領域名 | 生徒質問対応領域・質問番号 | スコア 全国基準 |
|---|---|---|---|
| １０ | 総合・学級活動・道徳 | （４７）～（５１） | 5.3 |
| １１ | 生活習慣 | （１）～（４） | 5.6 |
| １２ | 学習習慣 | （２３）（２５） | 5.1 |
| １３ | 読書等 | （２６）～（３０） | 4.9 |
| １４ | 主体的・対話的で深い学び | （３８）～（４２）（４４）（４６） | 5.3 |
| １５ | ICTを活用した学習状況 | （３５）（３６－１）～（３６－４） | 5.4 |
| １６ | 自己有用感・心理的安全性等 | （６）～（９）（１３）（１５）（１７）（２０）（２１） | 5.1 |
| １７ | 向社会性 | （１１）（１２）（１４）（３３） | 4.8 |
| １８ | 学びの自己調整 | （２２）（４３） | 5.1 |

※領域番号１０～１８については、「中学校生徒質問対応領域・質問番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。

**【２】全体の特徴**

・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
・小学校のＤ層の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。
・中学校のＤ層の割合、バンド１の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。

・小学校においては、「主体的・対話的で深い学び」や「生活習慣」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「学習習慣」や「英語に関する意識」領域のスコアについて、低い結果が出ている。
・中学校においては、「生活習慣」や「ICTを活用した学習状況」領域のスコアについて、高い結果が出ている（うち、「生活習慣」は、全国と比較しても高い）。また、「向社会性」や「読書等」領域のスコアについて、低い結果が出ている。